

今年も4月に入り、早くも4分の1が過ぎ、誰もが苦手な『梅雨』がやって来ます。この時期は家の劣化を急速に進めてしまうことがある為、注意が必要です。そこでこれから迎える梅雨に向けて、知っておきたい問題点や住宅の湿気対策について紹介していきましょう。

梅雨時期に注意しておきたい問題点！

【梅雨時期の結露にも注意！】

カーテンや押入れの中、壁や布団などにカビが生じてしまうのは結露が大きな原因

【カビの大繁殖に注意！】

6月中旬から7月中旬まではカビの繁殖に適した気候状態

【害虫の繁殖！】

梅雨時期から、人に害をなす害虫などの繁殖期（ヤスデ・ムカデ・ダニ・シロアリ）

この様な事から、梅雨の湿気から家を守る為の対策をいくつか紹介します。

梅雨時期の湿気対策について！

【キッチン周りの湿気対策】

特に湿気のたまりやすい場所は、「シンクの下」です。

原因は、排水パイプにお湯を流すことで熱が伝わり、カビの繁殖に適した環境になるからです。

基本的に収納スペースになっていますので、いろいろな食品の保管場所として使用している人が多いのですが、シンクの下は食品の貯蔵には適していません。

対策としては、時々で良いので、扉を開放して換気するようにしましょう。



【押入れ・クローゼットの湿気対策】

家の中で特に湿気がこもりやすい場所です。

原因は、布団や衣類など水分を含みやすいものを、密閉空間にしまう訳ですので、内部の湿気が高くなってしまいますからです。

対策としては、天気の良い日に天日干して、扉を開放して風を通すようにしましょう。



まとめ

今回は、これから迎える梅雨に向けて、特に注意しておきたい湿気のたまる場所や、その対策についてご紹介してきました。梅雨時期のジメジメした高温多湿状態は、お子様のアレルギー発症などの、健康への悪影響や、シロアリ等の害虫の繁殖などにより建物自体を傷つけてしまう大きな問題と考えられます。

「梅雨だから仕方ない」ではなく、出来る範囲の対策をし、最近ではいろんな除湿機器が発売されてますので用意しておくのも良いかと思われます。

当社では、梅雨時の対策をはじめ各種リフォーム工事を行っています。

リフォーム等のご相談はお気軽に当社へお問い合わせください。

旭環境管理株式会社

[TEL:0977-21-2145](tel:0977-21-2145)

担当: 黒田要、松田清